

---

---

# 第60回 日本交通科学学会 学術講演会

---

---

## 開 催 趣 意 書

会 期：令和6年9月3日(火)、4日(水)

会 場：日本大学理工学部 駿河台キャンパス タワー・スコラ  
(東京都千代田区神田駿河台 1-8-14)

大会長：松田 礼

(日本大学理工学部 精密機械工学科 教授)

主 催：一般社団法人 日本交通科学学会

### 【運営事務局】

第60回 日本交通科学学会総会・学術講演会 事務局  
〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-9-6 十全ビル 4階  
(株)ドーム内 担当:水垣・金澤  
《電話》03-5510-7923 《FAX》03-5510-7922

# 第60回 日本交通科学学会 学術講演会

## 開催趣意書

謹啓

時下、皆様におかれましてはますますご清祥にてご活躍の段、お慶び申し上げます。  
平素は日本交通科学学会の活動に、ご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第60回日本交通科学学会学術講演会を令和6年9月3日(火)・4日(水)の2日間において、日本大学理工学部駿河台キャンパスのタワー・スコラで開催することになりました。日本交通科学学会は、医学系、心理学系及び工学系の分野の研究者等を主体とする総合的かつ学際的研究集団として、交通に関する安全及び環境に係る科学的研究を実施し、並びにその成果の応用についての推進を図り、交通災害の防止に寄与することを目的としています。そして、交通に関する安全及び環境に係る普及・啓発等の事業の1つとして、1965年(昭和40年)より学術講演会を年1回開催しています。

交通科学は自動車をはじめとする交通に関する諸問題を科学的に研究する学際的な分野です。また、交通科学は自動車技術の発展だけでなく、医療の専門家と連携して交通事故の予防や安全性を高めるための課題に貢献しなければなりません。さらに、技術革新と行政の枠組みとの調和がこれからの交通システムの構築において不可欠です。そこで、本学術講演会は、医学、工学、行政などの多岐にわたる多職種の専門家が連携、協働し、より安全で安心な交通環境の実現に向けて新たな解決策を模索する場にしたいという意味を込めて、「安全運転のための多職種協働と運転支援」を大会テーマといたしました。

本学術講演会の運営にあたりましては、もとより質素を旨とし、節約に努めて参る所存でございます。また、費用は参加者の参加費を以て充当する所存ではございますが、なおそれを上回る支出が予想され、各方面からのご援助に頼らざるを得ないのが実情です。諸経費ご多端の折、甚だ恐縮に存じますが、本学術講演会の主旨をご理解いただき、何卒ご理解とご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴社、貴団体のますますのご発展を心より祈念いたします。

謹白

第60回日本交通科学学会 学術講演会  
大会長 松田 礼  
日本大学理工学部精密機械工学科 教授

# 第60回 日本交通科学学会 学術講演会

## 開催概要

### 1. 大会名称

第60回 日本交通科学学会 学術講演会

### 2. 大会テーマ

「安全運転のための多職種協働と運転支援」

### 3. 会期

令和6年9月3日(火曜日)、4日(水曜日)

### 4. 会場

日本大学理工学部 駿河台キャンパス タワー・スコラ  
(東京都千代田区神田駿河台1-8-14)

### 5. 大会長

松田 礼 (日本大学理工学部 精密機械工学科 教授)

### 6. 主催

一般社団法人 日本交通科学学会

### 7. 後援

東京都, 警察庁, 日本人間工学会, 日本機械学会, 自動車技術会

### 8. Web サイト URL <https://jcts60.conv.jp/>

### 9. プログラム(予定)

理事長講演, 特別講演, 教育講演, シンポジウム, ランチョンセミナー, 一般講演

### 10. 参加予定者数

約200名(招待者含む)

### 11. 大会運営事務局

東京都千代田区永田町 2-9-6 十全ビル 4階 (株) ドーモ内, 担当:水垣・金澤